

Chrome OS Flex

JJ1SXA/池

Chrome OS Flexは、グーグルが無償で提供する、新しいOS(Operating System)だ、マイクロソフトのWindowsでもアップルのMacでも無い独自のOSだ、このOSを搭載したノートブックがクロームブック(Chromebook)だ。

このFlexは、Windowsパソコン上でも動作するし、CドライブにインストールしなくてもUSBメモリーから起動できるので、既存のWindows環境に手をつけずに手軽に試せる。

FlexをUSBメモリーに入れて持ち歩けば、外出先で借りたパソコンで個人データを扱いたい時に重宝する。

また、Windowsが起動しないトラブルに陥った際もデータ救出用としてFlexを使うことも可能だ。

Flexから起動したパソコンでは、作成したデータをGoogleドライブなどのクラウドドライブに保存するのが基本、USBメモリーからFlexを起動すれば、本体のWindowsやストレージに全く影響を与えない。

普段使用しているGoogleアカウントでログインすればGmail等のサービスをいつも通り使用できる。

作成したデータは、クラウドドライブだけで無くローカルストレージに保存したり、USB接続のUSBメモリーやSSDに保存したりする事も可能。

Flexには、USBメモリーから起動する方法とCドライブにインストールする方法の2種類があるが、いずれにしても、まずはFlexのインストール用メディア(起動ディスク)を作成する必要がある、インストール用メディアの作成には8GB以上のUSBメモリーが必用だ。

Chromeを起動してトップページのアイコンをクリックするか、「Chromeウェブストア」にアクセスし、Chromeウェブストアから拡張機能の「Chromeリカバリーユーティリティ」をChromeに追加する。

Chromeの右上にある「拡張機能」ボタンから「Chromebookリカバリーユーティリティ」を起動し、右下の「始める」をクリック。

Chromebookの識別画面が開くので「リストからモデルを選択」をクリック、メーカーとして「Google Chrome OS Flex」を、製品として「Chrome OS Flex」を選択、画面下の「続行」をクリック。

インストール用メディアにするUSBメモリーをパソコンに挿し、使用するメディアで当該USBメモリーを選択、画面下の「続行」をクリック。

「リカバリーイメージの作成」画面が開くので「今すぐ作成」をクリック、「作成が完了しました」という画面が出れば作成作業終了。

インストール用メディアの作成が終わったら、インストール用メディアからFlexのインストールプログラムを起動し、CドライブにインストールせずにUSBメモリーから直接起動する。

USBメモリーから起動する方法は、各パソコンによって違うので、マニュアルで確認する必要がある、一般的には、USBメモリーをコンピューターに接続し、電源を入れ、画面にベンダーのロゴが表示されている状態(メーカーロゴやブランドロゴが表示されている状態…

Windows画面に切り替わる前の状態)で、Bootキー(F12等)をクリックし、「Bootメニュー」が表示されたら、「USBディスク」を選択してシステムを起動する。

「Welcome to Chrome OS Flex」という画面のインストールプログラムが起動したら、「English(United States)」と書かれたところをクリックし、言語とキーボードを「日本語」に設定して画面下の「OK」を押す。

日本語のインストール画面になるので「始める」をクリック、次の画面で「試してみる」を選択し、上にある「Chrome OS Flexをインストールする」は絶対に選択しないこと、こちらを選ぶとWindowsのデータが消えてしまうので要注意だ。

ここまでくれば、もう一息だ、インターネットに接続が必用、Wi-Fiを利用する場合は、ルーターのパスワードを入力、利用規約の確認画面の後、利用者の確認画面が出るので自分で使用する場合は「あなた」を選択し、「次へ」をクリック。

「Chromebookへのログイン」画面になったら、Googleアカウントのメールアドレスとパスワードでログインする、「Chromeデバイスの同期」画面が出るので、Gmailのデータを同期させる場合はそのまま「同意して続行」をクリック、Googleアシスタントの利用画面になるのでGoogleアシスタントを利用する場合は「同意する」をクリック、「これで準備完了です」と表示されればすべての作業は終了、「始める」をクリックするとChrome OS Flexが起動する。

Chrome OS Flexは、Windowsパソコンのデータ救出にも威力を発揮する、Windowsが起動しなくなったパソコンのデータを外付けUSBやSSDなどにコピーして救出することができる。

データを救出する場合は、OS起動用のUSBメモリーとデータを保存する外付けUSBやSSDなどを接続して起動用USBメモリーからChrome OS Flexを起動する、諸々の初回の設定を済ませてあるパソコンなら2回目はいきなりサインインできる。

Flexが起動したら、デスクトップ画面下のシェルフ(タスクバーと同じと考えれば良い)の「ファイル」アイコンをクリックして「ファイル」アプリを起動する。

これにより、WindowsパソコンのCドライブを開いて救出したい個人データが保存されているフォルダーにアクセスできるようになる。



シェルフに表示される「ファイル・アイコン」

ファイルやフォルダーはドライブ名のところにドラッグ・アンド・ドロップするとコピーされるので、救出したいデータを接続した外付けUSBやSSDなどに移行すれば良い。

余り難しい手順で無く、Windowsが起動しなくなったパソコンから簡単に必要なデータの救出ができるのは嬉しい。

(2022年10月記)